



▲ ①茨城県水戸市 (File.1 / 2017年1月号掲載)

弘道館は、水戸藩主徳川斉昭(なりあき)が創設した日本最大規模の藩校です。その教育方針や施設などは他藩の藩校にも影響を与えました

▼ ②神奈川県鎌倉市 (File.5 / 2017年5月号掲載)

奈良時代開創と伝えられる長谷寺から臨む相模湾。眼前に海、三方を山に囲まれた鎌倉は天然の要害として知られています



日本の源流
再発見

傑作選

日本各地の歴史的魅力や、文化・伝統を紹介する本コーナーは、2017年1月号の連載開始以来34回を数えます。これまで、文化庁が認定した「日本遺産」からいくつものストーリーを取り上げてきました。認定ストーリーは令和元年度に認定された16件を含め、83件*。文化庁は今年度末までに認定100件をめざしています。今号は、今までに訪れた都市の中から、印象深かった場所を編集部がセレクト。豊富な写真とともにご紹介します。

※2019年5月20日現在



▼ ③宮城県仙台市 (File.7 / 2017年7月号掲載)

豪華絢爛(けんらん)な桃山文化の影響を受け、新たな文化をつくった政宗公。“伊達(だて)”文化は仙台から全国に広がりました



▲ ④山形県鶴岡市 (File.12 / 2017年12月号掲載)

出羽三山は、古来修験道の霊場として知られています。羽黒山の山頂に続く参道は、幾重にも重なる杉並木に包まれています



◀ ⑤群馬県桐生市 (File.13/2018年1月号掲載)
「日本の機どころ」と慕われた町・桐生は、高級絹織物の産地として知られ、江戸時代から「西の西陣、東の桐生」といわれてきました



▲ ⑥山梨県甲州市 (File.23/2018年11月号掲載)
勝沼地区は、古くからぶどう栽培が行われてきました。明治9年には全国に先駆けてぶどう酒醸造所が開かれました



▲ ⑦富山県高岡市 (File.26/2019年2月号掲載)
加賀前田家二代当主・前田利長の菩提寺、国宝・瑞龍寺(ずいりゅうじ)は、江戸初期の禅宗寺院建築で、壮大な伽藍(がらん)様式が特徴です



▶ ⑧栃木県宇都宮市 (File.31/2019年9-10月号掲載)
1926年秋の作庭以来、人々の憩いの場として親しまれている宇都宮大学・フランス式庭園です。園路や花壇などに大谷石が使われています